Ⅱ 交流編

菅原　浩史　«羅次男像»

白旗　修太　«トランプハウス»

フロアバレーボール

交流の概要

ねらい：同年代の高校生と交流を通して触れ合うことを通して、どのような考えをもち、どのような学校生活を送っているのかを知る。
交流を通して、盲学校のことや視覚障害者のことを知ってもらい、都立高等学校のことや健常者のことを知るなど、お互いの理解を深める。
対　象：本校生徒　都立高等学校生徒
場　所：本校体育館、食堂

交流における活動や取組の工夫

都立高等学校の生徒会役員等、計１５人が来校し、本校生徒会役員等、計１０人との交流を行った。午前中は障害者スポーツのフロアバレーボールを実施した。フロアバレーボールでは、本校の生徒と都立高等学校の生徒が一緒にプレーすることで、互いに言葉を掛け合いながら交流を深めていた。

午後からは、アイマスクをして食事をとったり、歩行体験をしたりし、視覚障害体験を行った。その他、点字タイプライターや点字盤を用いて、点字を打つ（書く）体験を行い視覚障害の理解を深めることができた。

交流での児童・生徒の感想、様子

<特別支援学校の生徒>
・興味をもってもらえてよかった。
・盲学校のことや障害者スポーツについて分かってもらえるよう、工夫したことがよかった。
・楽しく過ごすことができた。

<交流校の生徒>
・とても難しかったが楽しかった。
・パラリンピックや障害者スポーツに興味がわいてきた。
・障害のある方と積極的に関わっていこうと感じた。
・普段接する機会がないので、今回いろいろ知ることができてよかった。
・他にも様々な障害者スポーツもやってみたいと思った。

障害者スポーツを取り入れた交流活動の成果

フロアバレーボールという障害者スポーツの体験や、アイマスクを着用しての食事等の体験を通じて、「見えない」「見えにくい」こととはどういう状況なのかを理解してもらえた。

音や触覚など視覚以外の感覚の活用や補助具の活用の大切さとともに、言葉による説明や支援も欠かせないということを理解してもらうよい機会になった。

交流の展開例

児童・生徒の活動

① 開会式
　自己紹介・チーム分け
　フロアバレーの説明（本校生徒）
　デモンストレーション

② サーブ・レシーブ練習
　後衛の役割・練習
　前衛の役割・打ち方

③ 前衛ブロック練習
　（アイシェードを付けて全員体験）

④ ゲーム
　（試合を進めながら適宜ルールの説明）

昼食・交流（食堂）

⑤ 視覚障害者用補助具紹介
　アイマスク着用歩行体験

⑥ 閉会式・解散

教員の支援及び配慮事項

○交流校が来校した際、事前に活動予定を教職員に周知する。

○生徒が本日の内容などを説明している際、必要に応じて補足説明を行う。

○練習方法を指示し、ボール出しなどの練習補助を行う。

○ゲームの際、ルールや技術説明を適宜行う。

○アイマスク着用歩行体験では、安全を確保した上で、実施する。

ゲートボール

交流の概要

ねらい：ゲートボールを通して、地域の方との交流を楽しむ。
対　象：本校中学部生徒　　地域の方

交流における活動や取組の工夫

○地域の方々から普段活動されているゲートボールのやり方（打つ構え、スティックの使い方）などを教えていただき、実際の活動を通して交流を行う。

1　はじまりの会・自己紹介
2　ゲートボール活動【グループごと】
　・ゲート3か所を作り、地域の方々とより多く活動できる場面を設定した。
　・生徒が役割をもち、地域の方々と協力して交流できるようにした。
3　終わりの会・感想発表

交流での児童・生徒の感想、様子

<特別支援学校の児童・生徒>
・構え方やスティックの打ち方など、地域の方のアドバイスを聞いて工夫したり、繰り返し活動したりすることで打ち方が上手になった。
・真剣な表情でゲートをねらう生徒や、ゲートを通過して大喜びする生徒の姿が見られた。

<地域の方々>
・生徒の真剣な様子や考えている様子を見て、様々なアドバイスをしていただけた。また、成功すると拍手や言葉掛けをたくさんしていただき、活発な交流を行うことができた。

障害者スポーツを取り入れた交流活動の成果

地域の方々が、日頃から学校前の公園でゲートボールの練習をしているが、ゲートボールというスポーツや練習をしていることを知らない生徒が多い。日常生活や学校生活で関わることの多い地域であり、学校行事などの際には、様々な面で協力していただいている。そのような方々が身近にいることを知り、ゲートボールを通して、地域の方を身近に感じ、関わりをもてたことは大きな意義があった。

交流の展開例

児童・生徒の活動

ゲートボール交流

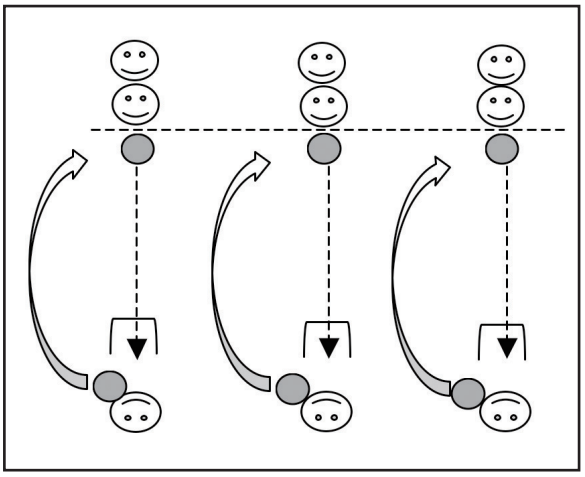
教員の支援及び配慮事項

○隊形について

ゲートを３か所設置し、グループごとに縦に打つ形とし、生徒がボールを打つ活動を多くできるようにする。

○ルール説明

始まる前に一人３球ずつ、ゲートを狙って打つ。打つ人、ボールを拾う人の役割決めて、進行する。



○交流場面

地域の方と必ず関われるように、各グループに１人～２人は生徒が入るように設定する。また、アドバイスをいただくなどの時間を設定する。